

2020年11月3日



キリスト教センター 通信 Vol.21

激励メッセージリレー



タイトル

『君だけの音を聴かせてよ～♪』

大学オルガニスト 伊藤純子 先生

人気グループ「嵐」の代表曲の中に、好きな歌詞があります。それは「君だけの音を聴かせてよ～」という歌詞です。私なりの解釈ですが、これは「君にしか出せない音がある」「それを思いっきり出していこうよ」ということではいかと思います。「音」というのは「個性」や「味」の意味。「君の個性」「君らしさ」が発揮できてこそ、「君」が世の中に活かされる意味があるはずです。

逆に言えば、せっかく「君」が存在しているのに「君らしさ」が押さえつけられたり、埋もれていてはもったいない、ということになるでしょう。しかし、我慢せずに何でもかんでも思いつくまま周囲にまき散らそう、と言っているわけではありません。

器楽合奏や合唱が美しく響くためには、ひとりひとりが自分のパートの音楽を、のびのびと表現することが必要最低条件です。しかし自分が心地良いだけでは、自己満足になるだけで、美しい響きは生まれません。自分が放つ響きと、空間に交じり合う響きとに、ふわりと耳を傾けることによって、その空間には最高の響きが誕生します。それは一人では決して生み出すことのできない、人知を超えたエネルギーに満ちています。

キリスト教 一口メモ 「パイプオルガン2」♪

本学のパイプオルガンには、1800本近いパイプがあります。ひとつとして同じパイプは無く、材質も太さも、長さも形も、全て異なります。つまり一本一本に、異なる役割があるのです。小さくて細い金属パイプは、太くて大きな木のパイプになりたがったり、役割を真似したりはしません。それぞれのパイプが、役割を担うことによって、空間に美しい響きが放たれます。

音色はこちら ⇒



新型コロナウイルスの被害を覚えるお祈り

どうか、皆さんもお時間があるときにお祈りください

神戸国際大学の学生のための祈り

いつくしみ深い神よ、新型コロナウイルスの感染拡大により、困難な日々、孤独な状況、不安の中にあるすべての神戸国際大学の学生のみなさんのために祈ります。

どうか、彼ら彼女ら一人ひとりの心を支え、お守りください。そして私たちに、あなたの知恵と力が与えられ、今できることを考え、神さまのみ心になつた正しい行動を心がけることができますように。そして、共に心を合わせて、新型コロナウイルスの一日も早い終息を祈り、求め続けることができますようにお導きください。

このお祈りを、主イエスさまのみ名によっておさげいたします。アーメン

病に苦しむ人のための祈り

慈悲の父、慰めのもとである神よ、現在、新型コロナウイルスに感染し、痛みや苦しみ、不安や悲しみの中にある人のために献げる祈りをお聞きください。

どうか病で困難や不安の中にある人を憐れみ、み恵みによってその体と心を強め、病を癒してください。また、医師と看護する者たちを助け導き、その働きを支えてください。

そして、何もできずに不安と悲しみの中で苦しむご家族やご友人、また、私たちの心も神さま、あなたが愛によってお救いください。

主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

離れている大切な人を覚える祈り

愛なる神さま、あなたは、み手を伸べていつも私たちをお守りくださいます。どうか、遠く離れて暮らす家族や友人を様々な困難な状況からお守りください。

そしてこの不安定な世界において、必要な糧が与えられますように。心と体が守られ、健やかに日々を過ごすことができますように、どうかあなたがお支えください。

また、不安の中で医療に従事する人々のために祈ります。どうか一人ひとりの働きが祝福され、感染者の回復を助け、支える力をお与えください。そして彼らが感染から守られ、新型コロナウイルスの終息に向かうことができますように。

この小さなお祈りをイエスさまによってお願いいたします。アーメン

昼の礼拝にぜひお越しください！

新型コロナウイルスの影響で休止していた、昼の礼拝を
10月20日（火）から再開いたしました。

昼の礼拝詳細

毎週火曜日と金曜日

12時 45分～12時 55分

キリスト教センター玄関エントランスに於いて。

内容：お祈り、聖書、メッセージ。

感染症対策のため、マスクの着用をお願いいたします。礼拝に出席したことの無い方でも、大歓迎です。皆さまのご参加を心からお待ちしております。

神戸国際大学
キリスト教センターの
HPリンクはこちらまで

